

## 8. 講演会

開催方法 : 会場（有楽町朝日ホール）およびライブ配信  
 開催日 : 令和4年3月4日（金）  
 主催 : 国立研究開発法人 建築研究所

### 講演発表

|   |                   |       |        |
|---|-------------------|-------|--------|
| 非住宅建築物における外皮性能による温熱環境を考慮した空調エネルギー評価に関する取り組み | 環境研究グループ          | 主任研究員 | 赤嶺 嘉彦  |
| 東日本大震災及び以降の災害における応急仮設住宅と災害公営住宅の特徴           | 住宅・都市研究グループ       | 上席研究員 | 米野 史健  |
| 軽量鉄骨下地による非構造部材の耐震性等に関する建築研究所の最近の取組み         | 建築生産研究グループ        | 研究員   | 沖 佑典   |
| スラブ内地震、海溝型巨大地震とスロー地震                        | 国際地震工学センター        | 主任研究員 | 北 佐枝子  |
| 2016年熊本地震による益城町の木造住宅倒壊分布に関する地盤要因の可能性        | 構造研究グループ          | 上席研究員 | 新井 洋   |
| 木造による10階建て復興住宅の構造試設計                        | 材料研究グループ          | 上席研究員 | 槌本 敬大  |
| 「新耐震基準」から40年を振り返る                           | 構造研究グループ          | グループ長 | 小山 信   |
| <特別講演><br>「温故知新と転禍為福で大震災を乗り越え未来の夢を描く」       | 名古屋大学減災連携研究センター教授 |       | 福和 伸夫氏 |

### ポスター展示

|                                    |             |       |       |
|------------------------------------|-------------|-------|-------|
| ディープラーニングによる鉄骨造柱脚部と定着部の被災度区分に関する検討 | 構造研究グループ    | 上席研究員 | 森田 高市 |
| 機械学習を用いた重量床衝撃音レベル低減量の読み替え          | 環境研究グループ    | 研究員   | 平川 侑  |
| 実大火災実験棟整備概要紹介                      | 防火研究グループ    | 主任研究員 | 出口 嘉一 |
| ドローンを活用した各種建物調査技術の開発と社会実装への取組      | 材料研究グループ    | 主任研究員 | 宮内 博之 |
| 木造住宅の力学性能に着目した地震後の継続使用性に関する検討      | 材料研究グループ    | 主任研究員 | 山崎 義弘 |
| 居住者の住居費負担能力に関する研究                  | 住宅・都市研究グループ | 研究員   | 今野 彬徳 |
| 強震観測記録に基づく鉄骨造超高層建築物の振動特性の推定に関する検討  | 国際地震工学センター  | 主任研究員 | 中川 博人 |